

2024年度 岐阜協立大学

学内ゼミナール大会 参加論文

ゼミ名 山本ゼミナール

テーマ 日本と他国のサッカーリーグの違い

代表者 原一世

参加者 前田翔和

福田隼斗

本田剣心

目次 日本のサッカースタジアム収容人数ランキング

イングランドのサッカースタジアム収容人数ランキング

ドイツのサッカースタジアム収容人数ランキング

海外と日本のチケットの値段の違い

Jリーグとの芝の違い

リーグごとの平均年棒

リーグごとの優勝賞金

5大リーグのスタジアムごとの建設費ランキング

5大リーグのスポンサーシップ契約ランキング

リーグの歴史

結論

目的は、海外と日本のサッカーにおいてたくさんの違いがありそれを知りたいと思ったため、研究した。

日本のサッカースタジアムの収容人数ランキングのベスト3をJ1・J2・J3と分けて調べました。J1では1位は横浜Fマリノスのホーム日産スタジアム72,327人で、2位は国立競技場67,750人、3位は浦和レッズのホーム埼玉スタジアム2002で62,020人でした。J2では、1位が大分トリニータのホームレゾナックドーム大分で31,997人、2位がロアッソ熊本のホーム笑顔健康スタジアムで30,275人、3位が栃木SCのホームカンセキスタジアムで24,670人でした。J3では、1位がFC大阪のホームの東大阪市花園ラグビー場で26,443人、2位がカタマーレ讃岐のホームPikaraスタジアムで22,338人、3位が松本山雅FCのホームサンブ

ロアルウィンで 20,336 人でした。

次はイングランドのサッカースタジアムの収容人数ランキングベスト 3 を調べました。1 位はウェンブリースタジアムで 90,000 人。2 位はオールド・トラフフォードで 74,319 人。3 位は、トッテナム・ホットスパー・スタジアムで 62,850 人でした。

ドイツのサッカースタジアム収容人数も調べました。1 位はシグナル・イドゥナ・パルク 81,365 人。2 位はアリアンツ・アリーナ 75,000 人。3 位はメルセデス・ベンツ・アリーナで 60,449 人でした。

次に、海外と日本のチケットの値段について調べました。日本はヤマハスタジアムで 7700 円、SS 席などの良い席では 1 万円前後するそうです。それに比べてイングランドでは、アーセナルの試合のチケットで 895 ポンド。日本円で約 13 万円もしていました。プレミアリーグの最高値では約 32 万 7000 円もしています。

次は J リーグと欧州の芝の違いについて調べました。J リーグでは、基本天然芝だということが分かりました。しかし、海外では国ごとに変わっていることが分かりました。イタリアなどの寒冷地域では人工芝のピッチで、寒冷地域以外のところでは、天然芝と人工芝のミックスのハイブリットターフがあることが分かりました。プレミアリーグでは人工芝を使ってはいけないことも調べて分かりました。

次は各国のリーグごとの平均年棒についてです。J リーグでは、約 3138 万円・プレミアリーグは 4 億 1 5 0 0 万円・ブンデスリーガは 2 億 6 6 0 0 万円・ラリーガは 2 億 2 1 0 0 万円・リーグアンは 1 億 8 0 0 0 万円・セリエ A は 2 億 4 0 0 0 万円でした。日本は圧倒的に他の国に比べ少ないことが分かりました。

次はリーグごとの優勝賞金についてです。J リーグは 3 億円に対してプレミアリーグは 1 1 8 億 3 7 0 0 万円・ブンデスリーガは 1 6 8 億 7 2 0 0 万円・ラリーガは 1 0 4 億 6 9 0 0 万円でした。先ほど言った平均年棒同様に日本は海外と比べてとても低いことが分かります。

次は 5 大リーグのスタジアムごとの建設費ランキングについてです。1 位はトッテナム・ホットスパー・スタジアムで約 1.7 兆円、2 位はパルク・オリンピック・リヨンで約 773 億円。3 位はエミレーツ・スタジアムの約 736 億円。4 位はアリアンツ・アリーナで約 548 億円。5 位はスタッド・ピエール＝モーロワで約 515 億円でした。1 位と 2 位で約 1 兆の差ができていたので規模が日本とはかけ離れていると感じました。

次は 5 大リーグのスポンサーシップ契約ランキングについてです。1 位はレアルマドリードの約 635 億円。2 位はトッテナムで約 615 億円。3 位はマンチェスターユナイテッドで約 500 億円。4 位はバルセロナで約 498 億円。5 位はバイエルンミュンヘンで約 434 億円。6 位はアーセナルで約 430 億円。7 位はリヴァプールで約 339 億円。8 位はパリサンジェルマンで約 262

億円でした。4位のバルセロナのスポンサーは日本の楽天で2017年～2022年まで契約していました。

次はリーグごとの歴史についてです。Jリーグの創設は1991年11月1日。プレミアリーグは1992年、ブンデスリーガは1963年です。ディヴィジョン・アンは1932年に創設され、2002、2003年にリーグアンに変更されました。ラリーガは1929年、セリアAは1898年に創設されました。創設された年代に大きな差はないことが分かりました。